



ハイ、チーズ！この一枚で、僕は天才？あなたは変人？

YEBISU GARDEN CINEMA
5 YEARS OF QUALITY FILMS

EDWARD FURLONG, CHRISTINA RICCI
in JOHN WATERS' PECKER

BESS ARMSTRONG, MARY KAY PLACE, MARTHA PLIMPTON, BRENDAN SEXTON III, MINK STOLE and LILI TAYLOR

FINE LINE FEATURES presents a POLAR ENTERTAINMENT PRODUCTION music by STEWART COPELAND casting by PAT MORAN C.S.A and HOPKINS SMITH BARDEN film editor JANICE HAMPTON A.C.E. director of photography ROBERT STEVENS A.S.C. executive producers MARK ORDESKY, JONATHAN WEISGAL, JOE REVITTE and JOE CARACCILO, JR. produced by JOHN FIEDLER and MARK TARLOV written and directed by JOHN WATERS USA/87minutes NIPPON HERALD FILMS.

I love ペッカー



ファイン・ライン・フィーチャーズ プレゼンツ ポーラー・エンターテインメント製作 ジョン・ウォーターズ フィルム **エドワード・ファーロング クリスティーナ・リッチ "PECKER"**
 ベス・アームストロング メアリー・ケイ・ブレイス マーサ・ブリンプトン ブレندان・セクストンIII ミンク・ストール リリ・テイラー 音楽: スチュワート・コーブランド キャスティング: バット・モラン c.s.a
 and ホプキンス・スミス・バーデン 編集: ジャニス・ハンブトン a.c.e 撮影: ロバート・スティーブンス a.s.c 製作総指揮: マーク・オーデスキー ジョナサン・ウェイスガル ジョー・レヴィット and
 ジョー・カラチオーロ, JR. 製作: ジョン・フィードラー and マーク・ターロフ 脚本・監督: **ジョン・ウォーターズ** オリジナル・サウンドトラック: BMGファンハウス 提供: テレビ東京、日本ヘラルド映画 配給: 日本ヘラルド映画

最高にハッピーでラッキーで クレイジーなエピソードの数々!! そして、合言葉は… "SAY CHEESE!! (ハイ・チーズ)"

カメラを向けられ、この言葉をかけられた瞬間、どんなに元気がない人も、不機嫌な人も、満面の笑顔でレンズに顔を向けるというもの。

劇場を出るとき、そんな楽しくて、幸せな気持ちにさせてくれる映画が、この「I love ペッカー」。

写真に夢中で、誰からも愛される心優しい青年ペッカーを主人公に、最高にハッピーでラッキーでクレイジーなエピソードが繰り広げられます。舞台はボルチモア。写真好きのペッカーは、愛するホームタウンのちょっと変な人々や家族や風景をカメラにおさめるのに余念がない。

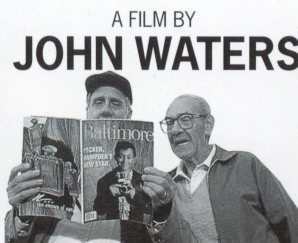
万引きの天才、親友マットやコインランドリーで働く仕事フェチのガールフレンド、シェリー、浮浪者に優しいママ、砂糖中毒の妹、

マリア様命のおばあちゃん…。ボルチモアは魅力的な被写体で満ちあふれているのだ。

カメラを手に、そんなささやかな幸せを楽しんでいたペッカーだったが、ある日、運命が急変。ペッカーのちょっとピンボケだったり、露出過多の写真がニューヨークのアート・ディーラーに認められ、一躍アート界で脚光を。ニューヨークでの華やかな名声をとるか、それとも少々変わり者の愛すべき人たちに囲まれたボルチモアでの生活をとるか、ペッカーははたしてどちらを選ぶ?

I love ペッカー

ちょっとピンボケのペッカーの写真に一枚1300ドル(約16万円)の値がつき大仰天!!



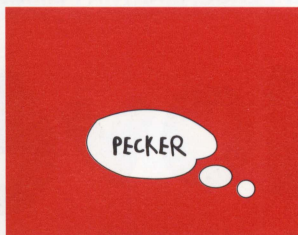
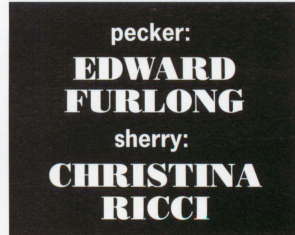
あのジョン・ウォーターズが今までにない
明るい毒でお届けするニューワールド!!

チャーミングで、愛すべきこの映画のメガホンをとるのは、「シリアル・ママ」のジョン・ウォーターズ。ウォーターズといえば、これまでアンダーグラウンドの曲者、カルト映画の帝王の称号を得ていたが、自伝的ともいべき監督13作目にあたるこの作品では、一転してポジティブでハッピーな毒に包まれた映像ワールドを展開させています。映画の中のちょっと風変わりな登場人物達に、今までにない程の愛情と思いやりと情熱を注ぎ込み、また、一貫してホームタウン・ボルチモアにこだわってきた彼が、今回初めて、ボルチモア以外の場所、ニューヨークを映画に登場させました。「I love ペッカー」はジョン・ウォーターズにとって、ただ単に最新作というだけでなく、映画の世界観を大きく広げさせたニューワールドなのです。

そして、この映画に出演するキャストがまた、最高に魅力的。主人公の写真青年ペッカーを演じる『ターミネーター2』のエドワード・ファーロングをはじめ、彼のガールフレンドに今が旬の『アダマス・ファミリー』『パッファロー'66』のクリスティナ・リッチ、ニューヨークのアート・ディーラーに『身代金』のリリ・テイラーなどキャリアを積んだ優れた個性派ばかりが、この映画を最高に盛り上げています。

さらに、ミンク・ストールやメアリー・ヴィヴィアン・ピアスなどウォーターズ作品の常連や、彼の友人であるシンディ・シャーマン、グレッグ・ゴーマンといった本物のアーティストたちも脇役で顔を揃え、この新しい魅力にあふれた新世界に大いに貢献しているのです。

といいながらも、やはりジョン・ウォーターズ映画で指定つきのR-15(15歳未満は観賞不可)。過激なセックスも暴力もないこの作品がなぜそうなったのかも、お楽しみに。



ファイン・ライン・フォーチャーズ・プレゼンツ/ボラー・エンターテインメント製作/1998年/アメリカ映画/カラー作品/ヴィスタ・サイズ/ドルビーSRD/字幕:林完治/上映時間:1時間27分
オリジナル・サウンド・トラック:BMGファンハウス/提供:テレビ東京、日本ヘラルド映画/配給:日本ヘラルド映画 © 1998 FINE LINE FEATURES. ALL RIGHTS RESERVED.



大ヒット!! 絶賛上映中!!

当日料金:一般¥1,800、大・高校生¥1,500、シニア(60才以上)¥1,000

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり
恵比寿ガーデンシネマ
03(5420)6161

連日 11:10 1:10 3:10 5:10 7:10

※12/31は7:10の回がありません
1/1は休館いたします。

